

令和8年3月12日

法人企業景気予測調査

【兵庫県下の調査結果概要（令和8年1～3月期調査）】

～ 景況感の現状判断は、「下降」超幅が縮小するも、「下降」超は9期連続 ～

1. 企業の景況 ※景況判断BSI：前期比「上昇」－「下降」社数構成比

- 現状判断（8年1～3月）は、全産業で▲6.3%ポイントの「下降」超（9期連続）。
▲5.1 ⇒ ▲5.3 ⇒ ▲1.2 ⇒ ▲11.1 ⇒ ▲9.6 ⇒ ▲4.1 ⇒ ▲8.4 ⇒ ▲6.3
(R6.4~6) (R6.7~9) (R6.10~12) (R7.1~3) (R7.4~6) (R7.7~9) (R7.10~12) (R8.1~3)
- 製造業では、▲4.5%ポイントの「下降」超（5期連続）。
 - ・業務用機械などが「上昇」超となっているものの、鉄鋼、繊維などが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。
- 非製造業では、▲7.9%ポイントの「下降」超（13期連続）。
 - ・建設などが「上昇」超となっているものの、運輸・郵便、不動産などが「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。
- 先行きについては、全産業でみると、令和8年4～6月期は「下降」超で推移し、令和8年7～9月期は「上昇」超に転じる見通し。

2. 雇用 ※従業員数判断BSI：期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比

- 現状判断（8年3月末）は、全産業で33.6%ポイントの「不足気味」超（58期連続）。
 - ・製造業では、パルプ・紙が「過剰気味」超となっているものの、化学、はん用機械などが「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超（30.3%ポイント）となっている（19期連続）。
 - ・非製造業では、運輸・郵便、建設などが「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超（36.6%ポイント）となっている（58期連続）。

3. 売上高・経常利益 ※対前年度増減率

- 7年度の売上高は、全産業で1.6%の増収見込み。
 - ・製造業では、鉄鋼などが減収となるものの、情報通信機械、食料品などが増収となることから、全体では1.7%の増収見込みとなっている。
 - ・非製造業では、運輸・郵便などが減収となるものの、卸売、建設などが増収となることから、全体では1.3%の増収見込みとなっている。
- 8年度の売上高は、全産業で3.6%の増収見通し。
- 7年度の経常利益は、全産業で▲3.5%の減益見込み。
 - ・製造業では、情報通信機械などが増益となるものの、鉄鋼、業務用機械などが減益となることから、全体では▲5.7%の減益見込みとなっている。
 - ・非製造業では、運輸・郵便などが増益となるものの、小売、卸売などが減益となることから、全体では▲0.1%の減益見込みとなっている。
- 8年度の経常利益は、全産業で▲24.3%の減益見通し。

4. 設備投資 ※対前年度増減率

- 7年度の設備投資は、全産業で7.2%の増加見込み。
 - ・製造業では、化学などが前年度を下回っているものの、鉄鋼、輸送用機械などが前年度を上回っていることから、全体では16.2%の増加見込みとなっている。
 - ・非製造業では、金融・保険などが前年度を上回っているものの、運輸・郵便、卸売などが前年度を下回っていることから、全体では▲10.5%の減少見込みとなっている。
- 8年度の設備投資は、全産業で28.5%増の計画。

調査時点：令和8年2月15日 回収率：81.0% 回収企業数：333社

景況感等に関する企業の声（ヒアリング結果）

【製造業】

（景況感）

- 原材料である鉄スクラップについては、円安基調に伴う輸出量の増加や、建物解体工事の停滞による国内供給の減少を背景に価格上昇が続いており、販売価格への転嫁を交渉しているものの、人手不足や物価上昇を受けて建設需要が減退しており、価格交渉は難航している。（鉄鋼、中堅企業）
- 企業の設備投資意欲が十分でなく、需要が低調な状態が続いているほか、原材料である鉄の価格や、油類等の副資材価格、人件費の上昇が続いている。（鉄鋼、中小企業）
- 人手不足が恒常化しており、生産が受注に追いついていないほか、従業員の定着を図るための賃金引上げが収益を圧迫している。（繊維、中小企業）
- 昨年の政権交代に伴い、第4四半期頃から産業機械業界において需要が伸びている。また、トランプ関税が落ち着いてきたこともあり、国内の取引先企業が海外への輸出量を増やしつつあるようで、特に半導体やAI向けの需要が伸びている。（業務用機械、中堅企業）
- 中国向けの販売も行っているが、現時点で日中関係による影響は受けていない。（電気機械、大企業）

（雇用）

- 特定の業種というわけではなく、全体的かつ慢性的に人手不足気味となっている。（化学、大企業）
- 機械設計関係の技術者が不足しており、募集を行っても集まらない。（はん用機械、中小企業）

【非製造業】

（景況感）

- 当期は物流量が減少し、物流倉庫事業やコンテナターミナル事業、荷役等全般的に需要が減少している。（運輸・郵便、大企業）
- 前期に比べて円高となっており、業績の悪化が見込まれる。（運輸・郵便、大企業）
- 大雪の影響で施設を何度も閉鎖せざるを得ず、営業機会を逸した。（不動産、中小企業）
- 原材料価格の上昇分については、入札価格等への反映を進めることで、コスト上昇分の転嫁を図っている。（建設、中堅企業）
- 昨年はコーヒーの仕入価格が高騰していたが、当期は仕入価格の上昇も落ち着いてきている。（卸売、中堅企業）

（雇用）

- 全体的に不足感があるが、特に業界全体としてドライバー不足が顕著。人員確保のための賃上げが負担となっている。（運輸・郵便、中堅企業）
- 現場の作業員が慢性的に不足しており、募集を行っても集まらない。（建設、中小企業）